

エフェクトリファレンスガイド

はじめに

このガイドは、ヤマハのミキサーやオーディオインターフェースのエフェクトでよく用いられるパラメーターや用語について説明しています。このガイドは、製品固有のガイドと合わせてお読みいただくことを想定して作っています。まずは製品固有のガイドをお読みいただき、パラメーターや用語についてさらに詳しく知りたい場合に、このガイドをご活用ください。

お知らせ

このガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。

本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

このガイドで説明している機能やパラメーターには、お使いの製品に搭載されていないものもあります。

このガイドは、本書制作時(2026年1月時点)での最新情報に基づいて説明しています。

目次

EQ / チャンネル系	3
PEQ (Parametric Equalizer)	3
SSMCS (Sweet Spot Morphing Channel Strip)	4
ダイナミクス系.....	6
GATE.....	6
COMP (COMPRESSOR).....	7
COMPANDER-H / COMPANDER-S.....	8
DUCKER.....	9
M.B.COMP (MULTI-BAND COMPRESSOR)	10
ピッチ / ボーカル処理系.....	12
PITCH FIX.....	12
アンプ / ギター系	13
GUITAR AMP CLASSICS	13
キャビネットタイプと特徴	15
リバーブ系	16
REV-X.....	16
REV R3	18
ディレイ系.....	20
MONO DELAY	20
PING PONG DELAY	21

EQ / チャンネル系

PEQ (Parametric Equalizer)

PEQ(パラメトリックイコライザー)は、音声信号の特定の周波数帯域を選択し、その帯域のゲイン(増減)や帯域幅(Q)を自由に調整できる高精度なイコライザーです。音質補正や音響空間の最適化、フィードバック抑制など、幅広い用途に対応します。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Frequency(フリケンシー)	ゲイン設定によってブースト/カット(増減)するカットオフ/中心周波数を設定します。	20.0 Hz～20.0 kHz
Gain(ゲイン)	フリケンシーで設定した周波数付近の信号レベルを、どの程度ブースト/カット(増減)するかを設定します。	-18.0 dB～+18.0 dB
Q(キュー)	ブースト/カットする帯域の幅を設定します。値が大きいほど狭い帯域に影響します。	16.0～0.1
Filter Type	各バンドのフィルタータイプ(ピーク、シェルビング、HPF/LPFなど)を選択します。	Peak、HighShelf、LowShelf、HPF、LPF
Bypass	各バンドまたは全体のPEQ処理を無効化します。	On、Off
1-Knob On/Off	1-KnobコントロールのOn/Offを設定します。	On、Off
1-Knob Type	1-Knobコントロールのタイプを設定します。	Intensity、Vocal、Loudness
1-Knob Level	1-Knobコントロールのレベルを設定します。	0～100

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ボーカルの明瞭度向上	2.5 kHzを+3 dB、Q=1.2
低域のこもり除去	200 Hzを-4 dB、Q=1.0
フィードバック抑制	6.3 kHzを-12 dB、Q=10
スピーカー補正	80 Hzを+2 dB (Low Shelf)、10 kHzを+3 dB (High Shelf)

SSMCS (Sweet Spot Morphing Channel Strip)

SSMCS (Sweet Spot Morphing Channel Strip) は、Yamahaが開発したチャンネルストリップエフェクトで、コンプレッサーとイコライザーを組み合わせたエフェクトです。プロフェッショナルエンジニアのノウハウを凝縮したプリセットをベースに、1つのノブ操作で複数のパラメーターを同時に変化させる「Morphing」機能を搭載し、簡単かつ直感的に理想的な音作りが可能です。

SSMCSは、以下の2つの主要セクションで構成されています。

•COMP(コンプレッサー)

音量のピークを抑え、ダイナミクスを整えます。Morphingノブにより、複数のコンプレッサーパラメーター (Ratio、Attack、Release、Kneeなど) を同時に調整できます。

•EQ(イコライザー)

Low/Mid/Highの3バンド構成で、各帯域に対して周波数(F)、ゲイン(G)、Q(Midのみ)を設定できます。Low/HighはShelf型、MidはPeak型フィルターを採用しています。Morphingノブにより、複数のイコライザーパラメーター (Frequency、Gain、Q) を同時に調整できます。

コンプレッサーとイコライザー共通

パラメータ名	説明	範囲例
Morphing	プリセットのかかり具合を設定します。	プリセット間連続変化
Sweet Spot Data	Sweet Spot Dataを選びます。	設定によって変動

用途に適したSweet Spot Dataを呼び出し、Morphingパラメーターを調整して、最適なポイントを見つけてください。

パラメーター COMPセクション

パラメータ名	説明	範囲例
Comp Drive	コンプレッサーのかかり具合を設定します。	0.00～10.0
Knee	スレッショルド付近にどの程度緩やかに圧縮を開始するかを設定します。	Soft / Medium / Hard
Ratio	コンプレッサーの効果量を設定します。	1.0:1～20:1～500:1、INF:1
Attack	コンプレッサー効果が効き始めるまでの時間を設定します。	0.092 ms～80.0 ms
Release	コンプレッサー効果から開放されるまでの時間を設定します。	9.3 ms～999.0 ms
Side Chain	Onにするとサイドチェーンのレベル検出部分に効果するコンプレッサーを有効にします。	On、Off
SC-Q	Side Chainのブースト/カットする帯域の幅を設定します。値が大きいほど狭い帯域に影響します。	0.5～16

パラメータ名	説明	範囲例
SC-Freq.	Side Chainのカットオフ周波数を設定します。ゲイン設定によってブースト/カット(増減)するカットオフ周波数を設定します。	20 Hz～20 kHz
SC-Gain	Side ChainのSC-Freqで設定した周波数付近の信号レベルを、どの程度ブースト/カット(増減)するかを設定します。	-18 dB～+18 dB

パラメーター EQセクション

パラメータ名	説明	範囲例
Q	ブースト/カットする帯域の幅を設定します。値が大きいほど狭い帯域に影響します。	0.5～16.0
Frequency	カットオフ周波数を設定します。ゲイン設定によってブースト/カット(増減)するカットオフ周波数を設定します。	20Hz～20kHz
Gain	フリケンシーで設定した周波数付近の信号レベルを、どの程度ブースト/カット(増減)するかを設定します。	-18dB～+18dB

バンド	周波数範囲	ゲイン範囲	Q	フィルタータイプ
Low	20 Hz～1 kHz	-18 dB～+18 dB	なし	Low Shelf
Mid	20 Hz～20 kHz	-18 dB～+18 dB	0.50～16.00	Peak
High	500 Hz～20 kHz	-18 dB～+18 dB	なし	High Shelf

ダイナミクス系

GATE

GATEは、設定したしきい値(Threshold)よりも小さい入力信号に対してゲートを閉じ、信号を減衰または遮断することで不要なノイズや環境音を除去するダイナミクス系エフェクトです。特にマイク入力時の静寂部分や環境ノイズのカットに有効で、配信や録音のクオリティ向上に貢献します。

パラメーター

パラメータ名	説明	範囲例
Threshold	ゲートの効果がかかるしきい値のレベルを設定します。	-72.0 dB～0.0 dB
Range	入力信号がThresholdを下回ったときのゲートの閉じ具合(信号レベルの減衰量)を設定します。	-∞ dB～0.0 dB
Attack	入力信号レベルがThresholdを超えてから、ゲートが開くまでの時間を設定します。	0.092 ms～80 ms
Hold	入力信号レベルがThresholdを下回った後に、ゲートを閉じ始めるまでの時間を設定します。	0.02 ms～1960.0 ms
Decay	入力信号がHoldの待ち時間を経た後、ゲートが閉じるまでの時間を設定します。	9.3 ms～999.0 ms

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ボーカル録音時のノイズ除去	Threshold: -45 dB / Range: -∞ dB / Attack: 10 ms / Hold: 300 ms Decay: 200 ms
ライブ配信時の環境音カット	Threshold: -50 dB / Range: -12 dB / Attack: 5 ms / Hold: 500 ms Decay: 150 ms
楽器録音時の静寂部分の処理	Threshold: -40 dB / Range: -6 dB / Attack: 20 ms / Hold: 250 ms Decay: 100 ms

COMP (COMPRESSOR)

COMP(コンプレッサー)は、入力信号の音量が設定したしきい値(Threshold)を超えた部分に対して圧縮処理を行ない、音量の変化を整えるダイナミクス系エフェクトです。音のピークを抑えることで、全体の音量バランスを安定させ、聴きやすく、プロフェッショナルな仕上がりを実現します。

パラメーター

パラメータ名	説明	範囲例
Threshold	コンプレッサーの効果がかかるしきい値のレベルを設定します。	-54.0 dB～0.0 dB
Ratio	コンプレッサーの効果量を設定します。	1.0:1～20:1～500:1、INF:1
Gain	コンプレッサーの出力レベルを設定します。	0.0～18.0 dB
Auto Makeup	圧縮によるゲインロスを自動補正します。	On、Off
Attack	入力信号レベルがThresholdを超えてから、コンプレッサーの効果が最大に達するまでの速さを設定します。	0.092 ms～80.00 ms
Release	入力信号がThresholdを下回ったあと、コンプレッサーの効果がなくなるまでの時間を設定します。	9.3～999.0 ms
Knee	スレッショルド付近にどの程度緩やかに圧縮を開始するかを設定します。 Soft:自然に音量が変化します。 Medium:HardとSoftの中間です。 Hard:はっきりと音量が変化します。	Soft / Medium / Hard

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ボーカル	Threshold: -40 dB / Ratio: 3:1 / Attack: 20 ms / Release: 80 ms / Knee: Medium
ギター	Threshold: -35 dB / Ratio: 2:1 / Attack: 10 ms / Release: 100 ms / Knee: Soft
ドラム	Threshold: -30 dB / Ratio: 5:1 / Attack: 5 ms / Release: 150 ms / Knee: Hard

COMPANDER-H / COMPANDER-S

COMPANDER-H / COMPANDER-Sは、コンプレッサー、エキスパンダー、リミッターを組み合わせた複合型ダイナミクスエフェクトです。音量の変化を抑えながら、環境ノイズの低減も同時に行なうことができ、配信や録音、ライブ演奏などにおいて安定した音質を提供します。

COMPANDER-H	ノイズの減衰量が大きく、環境音の除去に優れたタイプです。静かな場面でのノイズ抑制に効果的です。
COMPANDER-S	ノイズの減衰量が控えめで、自然な音質を保つつつ軽度なノイズ処理を行なうタイプです。音楽的なニュアンスを重視する場面に適しています。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Threshold	コンプレッサーの効果がかかるしきい値のレベルを設定します。	-54.0 dB～0.0 dB
Ratio	コンプレッサーの効果量を設定します。	1.0:1～20:1
Attack	入力信号が3つの境界値レベルを超えた時、設定レベルに到達するまでの時間を設定します。	0～120 ms
Release	入力信号が3つの境界値レベルを超えた時、設定レベルが解除されるまでの時間を設定します。	5.0 ms～42.3 s
OutGain	出力レベルを設定します。	0.0 dB～-18 dB
Width	コンプレッサーとエキスパンダーの境界レベルの幅を設定します。	1～90 dB

用途別推奨設定例

用途	タイプ	推奨設定例
ボーカル録音	COMPANDER-S	Threshold: -40 dB / Ratio: 2:1 / Attack: 20 ms / Release: 80 ms / OutGain: -6 dB
ノイズ抑制重視の配信	COMPANDER-H	Threshold: -50 dB / Ratio: 5:1 / Attack: 10 ms / Release: 120 ms / OutGain: -12 dB
楽器録音 (アコースティック)	COMPANDER-S	Threshold: -35 dB / Ratio: 1.5:1 / Attack: 40 ms / Release: 100 ms / OutGain: -3 dB

DUCKER

DUCKERは、ある入力信号(トリガー)を検知して、音量を自動的に抑制(減衰)するエフェクトです。主に、ナレーションやボーカルが入った際にBGMを自動的に下げる用途などに使われ、手動でフェーダー操作を行なうことなく、自然なミックスバランスを実現します。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Ducker Source	ダッカーの効きを決めるために使用する信号を設定します。	任意の入力チャンネル
Threshold	ダッカーの効果がかかるしきい値のレベルを設定します。	-60 dB~0 dB
Range	ダッカーの効果がかかっているときの減衰量を設定します。	-70 dB~0 dB -∞ dB~0.0 dB
Attack	入力信号レベルがThresholdを超えてから、音量が下がる速度を設定します。	0.092 ms~80.00 ms
Decay	入力信号レベルがThresholdを下回った後、音量が元にもどる速度を設定します。	1.3 ms~5.0 s 9.3 ms~999.0 ms

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ナレーション入りBGM	Source: Mic IN / Threshold: -40 dB / Range: -12 dB Attack: 10 ms / Decay: 300 ms
会議音声の自動ミュート	Source: Voice IN / Threshold: -50 dB / Range: -∞ dB Attack: 5 ms / Decay: 500 ms
ライブ演奏中のトーク優先	Source: Vocal Mic / Threshold: -45 dB / Range: -6 dB Attack: 20 ms / Decay: 200 ms

M.B.COMP (MULTI-BAND COMPRESSOR)

MULTI-BAND COMPRESSORは、音声信号をLOW / MID / HIGHの3つの周波数帯域に分割し、それぞれに独立したコンプレッション処理を行なうことで、より精密なダイナミクス制御を可能にするエフェクトです。帯域ごとの音量変化を抑えることで、配信や録音時のレベルの安定性を高め、聴きやすくバランスの取れたサウンドを実現します。

パラメーター

パラメータ名	説明	範囲例
1-knob On/Off	Multi-Band Compressorの効果を一つのスライダーで操作する機能です。1-knobをOnにすると、1-knob Levelに応じて各バンドのThreshold、Ratio、Gainが調整できます。 Attack、Releaseやクロスオーバー周波数は固定値になります。	On、Off
1-Knob Level	1-Knobコントロールのレベルを設定します。	0～48
Gain	対象バンドの音量を設定します。	-∞、-60 dB～+18 dB
L-M XOVER	LOWバンドとMIDバンドのクロスオーバー周波数を設定します。	21.2 Hz～4.00 kHz
M-H XOVER	MIDバンドとHIGHバンドのクロスオーバー周波数を設定します。	42.5 Hz～8.00 kHz
Bypass	対象バンドのコンプレッサーのバイパスをOn/Offします。	On、Off
Attack Time	対象バンドのコンプレッサーのアタックタイムを設定します。 入力信号がThresholdを超えてから、コンプレッサーの効果が最大に達するまでの時間を調整できます。	1 ms～200 ms
Release Time	コンプレッサー(全バンド共通)のリリースタイムを設定します。 入力信号がThresholdを下回ったあと、コンプレッサーの効果がなくなるまでの時間を設定します。	10 ms～3000 ms
Threshold	対象バンドのコンプレッサーのThresholdを設定します。 コンプレッサーの効果がかかるしきい値のレベルを調整できます。	-54 dB～-6 dB
Ratio	対象バンドのコンプレッサーのRatioを設定します。 コンプレッサーの効果量を調整できます。	1.0:1～20.0:1
Out Gain	全体の出力レベルを設定します。	-12dB～+12dB

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ライブ配信	LOW: Threshold -30 dB / Ratio 3:1 / Gain +2 dB MID: Threshold -25 dB / Ratio 2.5:1 / Gain +1 dB HIGH: Threshold -20 dB / Ratio 2:1 / Gain 0 dB
ボーカル処理	LOW: 軽めの圧縮 / MID: 明瞭さ重視 / HIGH: サ行の耳障りを抑える
マスタリング	全帯域に対して均等な圧縮を行ない、音圧を安定化させる

ピッチ / ボーカル処理系

PITCH FIX

PITCH FIXは、入力された音声のピッチをリアルタイムで補正するエフェクトです。ボーカルやナレーションなどのピッチを自動的に修正し、安定したフレーズ感を実現します。さらに、フォルマント(声質)調整やMIDI制御による補正対象音の指定など、柔軟な設定が可能です。

以下の2つの主要な処理を組み合わせて、ピッチを補正します。

ピッチ手動補正: ピッチとフォルマントを手動で設定した値に補正します。

ピッチ自動補正: 入力音声のピッチを指定したキーとスケールに合わせて自動的に補正します。

パラメーター

パラメータ名	説明	範囲例
Coarse	ピッチ周波数のズレ具合を半音単位で設定します。	-12～+12
Fine	ピッチのズレ具合を1セント単位で設定します。	-50～+50
Formant	声質(フォルマント)を設定します。	-62～+62
Mix	音階補正する前と音階補正した後の音量バランスを設定します。	0～126
Key	自動補正の基準となるキーを選択します。	C～B
Scale	自動補正スケール(音階)を選択します。	Chromatic、Major、Minor、Pentatonicなど
Note Low Limit	自動補正対象とする音域の下限値を設定します。	C-2～G8
Note High Limit	自動補正対象とする音域の上限値を設定します。	C-2～G8
Correction	自動補正のOn/Off切り替えを設定します。	On、Off
MIDI Control	MIDIコントロールのモード切り替えを選択します。	Off、Setting、Real Time
Speed	補正の追従速度を設定します。	0～100
Tolerance	ピッチ変化に対する感度を設定します。	0～100

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ボーカル補正(自然)	Key: C / Scale: Major / Speed: 60 / Tolerance: 40 / Mix: 100
ロボットボイス風	Key: C / Scale: Chromatic / Speed: 100 / Tolerance: 0 / Formant: +40
ナレーションの安定化	Correction: On / Speed: 30 / Tolerance: 60 / Note Limit: C2～C5

アンプ / ギター系

GUITAR AMP CLASSICS

GUTAR AMP CLASSICSとは、ヤマハがモデリング技術を駆使して開発したギターアンプシミュレーターです。それぞれ異なるサウンドキャラクターを持つ、CLEAN、CRUNCH、LEAD、DRIVEの4タイプが用意されており、幅広いジャンルや演奏スタイルに対応します。

CLEAN	トランジスタアンプ特有の、ハリのあるクリアなサウンドです。クリーントーンに最適です。
CRUNCH	軽い歪みを加えた、ブルースやロック向けのサウンドです。ビンテージ感のあるチューブアンプ風です。
LEAD	高ゲインで倍音が豊かな、チューブアンプサウンドです。リードギターに最適です。
DRIVE	強い歪みを持つ、ハードロック／メタル向けのサウンドです。幅広い歪み表現が可能です。

パラメーター

CLEAN/CRUNCH/DRIVE/LEADの4タイプに共通

パラメータ名	説明	範囲例
Treble、Middle、Bass	それぞれ、高音域/中音域/低音域のレベルを調節します。	0～10
Presence	高音域の倍音を強調します。	0～10
Off / Gate	ノイズゲートのOn/Offを切り替えます。	On、Off
Gate level	ゲートがかかるレベルを調整します。	0～10
SP Type	SP TYPEを選択します。SP TYPEの詳細は「キャビネットタイプと特徴」を参照ください。	0～8
Mic Position	マイクの位置を設定します。	Center or Edge
Output	最終的な出力レベルを調節します。	-∞ dB～0 dB

CLEANのみ

パラメータ名	説明	範囲例
Volume	入力レベルを調節します。	0~10
Distortion	歪み量を調節します。	0~10
Cho/OFF/Vib:	エフェクトのOn/Offを切り替えます。[Cho]に合わせるとコーラスが、[Vib]に合わせるとビブラートが、それぞれOnになります。	
Speed/Depth	[Vib]がオンのときに、ビブラートの速さと深さを設定します。[Cho]がオンのときは機能しません。	0~10
Blend	原音とエフェクト音のバランス調整(CLEANのみ)を設定します。	0.0~10.0

CRUNCHのみ

パラメータ名	説明	範囲例
Normal/Bright	サウンドのキャラクターを切り替えます。	
Gain	入力レベルを設定します。値が大きいほど歪みの量が多くなります。	0~10

LEADのみ

パラメータ名	説明	範囲例
High/Low	サウンドのキャラクターを切り替えます。	
Gain	入力レベルを設定します。値が大きいほど歪みの量が多くなります。	0~10
Master	プリアンプの出力レベルを設定します。	0~10

DRIVEのみ

パラメータ名	説明	範囲例
Amp Type	サウンドのキャラクターを切り替えます。	1~6
Gain	入力レベルを設定します。値が大きいほど歪みの量が多くなります。	0~10
Master	プリアンプの出力レベルを設定します。	0~10

キャビネットタイプと特徴

以下の表は、CLEAN/CRUNCH/DRIVE/LEADの4タイプに共通する内容です。

SP TYPE	特徴	スピーカー構成
BS 4×12	ブリティッシュのフラットスタックタイプキャビネット。豊かな箱鳴りが特徴です。	12インチ×4
AC 2×12	アメリカンのコンボタイプキャビネット。さまざまな音楽ジャンルに馴染む澄んだトーンが特徴です。	12インチ×2
AC 1×12	アメリカンのコンボタイプキャビネット。アンサンブルの中で抜けのよいトーンが特徴です。	12インチ×1
AC 4×10	アメリカンのコンボタイプキャビネット。伝統的なギターサウンドを連想させるシャープなトーンが特徴です。	10インチ×4
BC 2×12	ブリティッシュのコンボタイプキャビネット。クランチサウンドとの相性がよく、レンジが広くてよく伸びる高音が特徴です。	12インチ×2
AM 4×12	アメリカンのスタックタイプキャビネット。ハイパワーアンプとの相性がよく、音の輪郭がはっきりするのが特徴です。	12インチ×4
YC 4×12	ヤマハFシリーズのコンボタイプキャビネット。豊かな中域とマイルドな高域が特徴です。	12インチ×4
JC 2×12	日本のコンボタイプキャビネット。クリーンサウンドや空間系エフェクトとの相性がよく、豊かな中高域が特徴です。	12インチ×2

用途別推奨設定例

用途	タイプ	推奨設定例
クリーンバックing	CLEAN	DISTORTION: 0 / BLEND: 50 / TREBLE: 6 / BASS: 5
ブルースソロ	CRUNCH	GAIN: 5 / TREBLE: 7 / MIDDLE: 6 / BASS: 5
ロックリード	LEAD	GAIN: 8 / MASTER: 7 / PRESENCE: 6 / SP TYPE: AC 4×10
メタルリフ	DRIVE	GAIN: 10 / TREBLE: 8 / BASS: 6 / GATE LEVEL: 7

リバーブ系

REV-X

REV-Xは、ヤマハがプロオーディオ機器向けに開発した高品位なデジタルリバーブエフェクトです。従来の名機「REV5」「REV7」の流れを汲みつつ、単体機ではなく「アルゴリズム」として設計され、DSP搭載機器やVSTプラグインなどに広く採用されています。空気感の再現に優れ、世界中のエンジニアに愛用されているリバーブエンジンです。音場や目的に合わせてREV-X HALL、REV-X ROOM、REV-X PLATEの3種類を選択できます。

REV-X HALL	コンサートホールのような広がりと奥行きのある残響を再現します。壮大で豊かな空間感を演出します。
REV-X ROOM	スタジオや小規模な部屋を模した自然な残響です。楽器やボーカルの定位感を保つつゝ、空間の厚みを加えます。
REV-X PLATE	金属板を用いたクラシックなプレートリバーブシミュレーションしています。明瞭で滑らかな残響が特徴で、ボーカル処理に最適です。

パラメーター

パラメータ名	説明	範囲例
Reverb Time	残響の長さを調節します。Room Sizeと連動します。REV-Xタイプによって調節範囲が異なります。	Hall: 0.103 sec～31.0 sec Room: 0.152 sec～45.3 sec Plate: 0.176 sec～52.0 sec <small>*Room Size 0 (min)のときの最小値～Room Size 31 (max)のときの最大値</small>
Initial Delay	残響がかかりはじめるまでの時間を調節します。	0.1 msec～200.0 msec
Decay	残響が鳴りはじめてから消えるまでの特性を調節します。	0～63
Room Size	残響の空間の広さを調節します。Reverb Timeと連動します。	0～31
Diffusion	残響の密度や広がりを設定します。	0～10
HPF	残響の低音域が減衰する周波数を調節します。	20 Hz～8 kHz
LPF	残響の高音域が減衰する周波数を調節します。	1 kHz～20 kHz
Hi Ratio	高域残響の長さを設定します。	0.1～1.0
Low Ratio	低域残響の長さを設定します。	0.1～1.4
Low Freq	Low Ratioの基準となる周波数を設定します。	22 Hz～18 kHz

用途別推奨設定例

用途	タイプ	推奨設定例
ボーカル	Plate	Reverb Time: 1.8 s / High Ratio: 高
アコースティックギター	Plate	Reverb Time: 1.8 s / High Ratio: 高
ドラム	Room	Room Size: 小 / Initial Delay: 20 ms
ストリングス	Hall	Reverb Time: 3.0 s / Diffusion: 高

REV R3

REV R3は、REV-Xシリーズの技術を継承しつつ、より柔軟なパラメーター設定と高精度な空間表現を可能にした次世代リバーブエフェクトです。Hall、Room、Plateの3タイプを搭載しています。プロオーディオ機器やVSTプラグインとして幅広く採用されており、自然で滑らかな残響と高い空間表現力を持ち、音楽制作からライブサウンドまで多様な用途に対応します。

REV R3 HALL	コンサートホールのような広がりと奥行きのある残響を再現します。壮大で豊かな空間感を演出します。
REV R3 ROOM	スタジオや小規模な部屋を模した、自然な残響です。楽器やボーカルの定位感を保つつつ、空間の厚みを加えます。
REV R3 PLATE	金属板を用いたクラシックなプレートリバーブをシミュレーションしています。明瞭で滑らかな残響が特徴で、ボーカル処理に最適です。

パラメーター

パラメータ名	説明	範囲例
Reverb Time	残響の長さを調節します。	0.3s～30.0s
Initial Delay	残響がかかりはじめるまでの時間を調節します。	0.1 msec～200.0 msec
Hi Ratio	リバーブの高域成分の残響時間のREV TIMEに対する比率を設定します。	0.1～1.0
Diffusion	残響の密度や広がりを調節します。	0～10
Density	残響の密度を設定します。	0～4
HPF	ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	Thru、21.2 Hz～8.00 kHz
LPF	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	50.0 Hz～16.0 kHz、Thru
ER/ Reverb Delay	初期反射音からリバーブ音までのディレイタイムを設定します。	0.1 ms～200 ms
ER/Rev Balance	初期反射音とリバーブ音のレベルバランスを設定します。	E63>R～E<R63
Feedback Gain	イニシャルディレイのフィードバック量を設定します。	-99%～+99%

用途別推奨設定例

用途	タイプ	推奨設定例
ボーカル	Plate	Reverb Time: 1.5 s / Diffusion: 7 / High Ratio: 0.8 LPF: 12 kHz
アコースティックギター	Room	Reverb Time: 1.2 s / Density: 3 / HPF: 100 Hz / LPF: 10 kHz
ドラム	Hall	Reverb Time: 2.5 s / Initial Delay: 50 ms / Diffusion: 10 / ER/ Rev Balance: E=R
シネマティック(映画風)	Hall	Reverb Time: 4.0 s / Density: 4 / High Ratio: 1.0 / LPF: 16 kHz

ディレイ系

MONO DELAY

MONO DELAYは、入力信号に対して一定時間遅延させた音を加えることで、空間的な広がりやリズム感を演出するシンプルなディレイエフェクトです。モノラル構成で扱いやすく、ボーカルやギター、シンセなど幅広いソースに対応します。テンポ同期にも対応しており、楽曲のBPMに合わせたディレイタイム設定が可能です。

パラメーター

パラメータ名	説明	範囲例
Delay	ディレイタイムを設定します。	0.1ms～2700.0ms 1.0ms～1350.0ms
Feedback Gain	遅延音の繰り返し量を設定します。	-99%～+99%
High Ratio	高域成分のフィードバック量を設定します。	0.1～1.0
HPF	ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	Thru, 21.2 Hz～8 kHz
LPF	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	50 Hz～16 kHz, Thru
Sync	テンポ同期のOn/Offを設定します。	On, Off
Note	テンポ同期時の音符単位でのディレイを設定します。	*1
BPM	テンポを設定します。	25～300

*1 Noteは以下の値で計算されます。ただし最大値はテンポの設定によります。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{♪} = 1/48 & \text{♪} = 1/24 & \text{♩} = 1/16 & \text{♩} = 1/12 & \text{♩} = 3/32 & \text{♪} = 1/8 & \text{♪♪} = 1/6 \\ \text{♩} = 3/16 & \text{♩} = 1/4 & \text{♩} = 3/8 & \text{♩} = 1/2 & \text{♩} = 3/4 & \text{♩} = 1/1 & \text{♩} = 2/1 \end{array}$$

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ボーカル	Delay: 240 ms / Feedback Gain: 15 / LPF: 8.5 kHz / HPF: 150 Hz
ギター	Delay: 500 ms / Feedback Gain: 20 / LPF: 10 kHz / HPF: 100 Hz
シンセ	Sync: On / Note: ♩ 4分音符 / High Ratio: 0.6

PING PONG DELAY

PING PONG DELAYは、ディレイ音が左右のチャンネル間を交互に跳ね返るよう再生されるステレオディレイエフェクトです。空間的な広がりと動きを演出するため、ボーカルやシンセ、ギターなどに使用することで、楽曲にリズミカルな奥行きを加えることができます。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Delay Time	ミリ秒単位でディレイタイムを設定します。テンポ同期時はNote/BPMで設定できます。	1.0 ms～1350.0 ms
Feedback Gain	フィードバックの量を設定します。	-99%～+99%
High Ratio	フィードバックの高域成分の量を設定します。	0.1～1.0
HPF	ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	Thru、21.2 Hz～8.00 kHz
LPF	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	50.0 Hz～16.0 kHz、Thru
Sync	テンポ同期のOn/Offを切り替えます。	On、Off
Note	テンポ同期時の音符単位でのディレイ設定を設定します。	*1
BPM	テンポを設定します。	25～300

*1 Noteは以下の値で計算されます。ただし最大値はテンポの設定によります。

$\frac{BPM}{4} = 1/48$ $\frac{BPM}{4} = 1/24$ $\frac{BPM}{4} = 1/16$ $\frac{BPM}{4} = 1/12$ $\frac{BPM}{4} = 3/32$ $\frac{BPM}{4} = 1/8$ $\frac{BPM}{4} = 1/6$
 $\frac{BPM}{4} = 3/16$ $\frac{BPM}{4} = 1/4$ $\frac{BPM}{4} = 3/8$ $\frac{BPM}{4} = 1/2$ $\frac{BPM}{4} = 3/4$ $\frac{BPM}{4} = 1/1$ $\frac{BPM}{4} = 2/1$

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ボーカル	Delay: 240 ms / Feedback Gain: 15 / LPF: 8.5 kHz / HPF: 150 Hz
シンセ	Sync: On / Note: ♪ 4分音符 / High Ratio: 0.6
ギター	Delay: 500 ms / Feedback Gain: 20 / LPF: 10 kHz / HPF: 100 Hz

Yamaha Global Site
<https://www.yamaha.com/>
Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

© 2025 Yamaha Corporation
2025年10月 発行 MW-A0